

〒662-0088 兵庫県西宮市苦楽園 4 番町 7-1
TEL.0798-70-0656(ナレオルゴール) FAX.0798-72-0110
<http://www.orgel-horie.or.jp/> E-mail info@orgel-horie.or.jp

ピアニストたちの系譜Ⅳ～レシエティツキの弟子たち～



テオドール・レシエティツキ

ポーランド出身のテオドール・レシエティツキ(1830-1915)は、わずか 10 歳にしてデビューを果たした早熟の天才ピアニストとして知られており、また指揮者や作曲家としての顔も持つなど、多方面でその才能を発揮しました。しかし、レシエティツキが今なおその勇名を馳せているのは、何と云ってもピアノ教師としての実績によるものでしょう。

レシエティツキの直系弟子は数百名にもものぼりますが、演奏家としてはイグナツィ・ヤン・パデレフスキ(1860-1941)とアルトゥール・シュナーベル(1882-1951)の双壁が高い知名度を誇っています。レシエティツキと同じポーランドを故郷に持つパデレフスキは、速い楽節も叩きつけずに演奏する有名な「レシエティツキ・タッチ」と呼ばれる独特のピアニズムを色濃く継承し、国際的な活躍で巨匠の道を歩みました。一方、7 歳からレシエティツキに師事したシュナーベルは、特にベートーヴェンの演奏に深い精神性を示して、世界で初めて「ベートーヴェン・ピアノソナタ全集」の録音を完成させるという偉業を成し遂げました。

またレシエティツキは、ロシアン・ピアニズムの発展に大きな貢献を果たしたことでも知られています。例えば、レシエティツキのもとへ留学し、故国ロシアで大成したピアニストのひとりにワシーリー・サフォノフ(1852-1918)が挙げられますが、その演奏法は名ピアニストであり、またロシアを代表する作曲家でもあるアレクサンドル・スクリャーピン(1876-1915)などに受け継がれています。レシエティツキの教えが、ロシア人ピアニストたちの演奏法において、重要な根幹を形成していることは明らかです。

その他にも、レシエティツキの門下からは数多くの著名なピアニストが輩出されました。20 世紀を代表する巨匠ピアニストイグナーツ・フリードマン(1882-1948)をはじめ、デトロイト交響楽団の音楽監督も務めたオシップ・ガブリロヴィッチ(1878-1936)や、99 歳まで公開演奏会を行ったミエチスワフ・ホルショフスキ(1892-1993)、パウル・ヴィットゲンシュタイン(1887-1961)、エリー・ナイ(1882-1968)、マーク・ハンプルク(1879-1960)など、錚々たる顔ぶれです。

彼らだけに留まらず、19 世紀後半から 20 世紀前半にかけての著名なピアニストのほとんどが、レシエティツキ、もしくはフランツ・リスト(1811-1886)のどちらかに指導を受けていたと言われています。20 世紀ピアノ界の一大勢力であったレシエティツキ一門が、現在まで続く「ピアニストの系譜」の源流となっていることに、疑いの余地はありません。

〈参考文献〉

真嶋雄大「ピアニストの系譜 その血脈を追う」音楽之友社 小石忠男「世界の名ピアニスト」音楽之友社

秋の通常プログラム

10月11日

Musical Instruments

自動演奏楽器の世界

ピアノ、バイオリンなど楽器自体が自動で生演奏を行う19世紀末から20世紀初頭に作られた自動演奏楽器をご紹介します。

毎週木曜～日曜（祝日）

① 10：30

② 13：00

③ 15：00

* 20名様以上の団体の方は事前予約で火曜水曜も開館致します。

秋の庭園特別公開

11月1日(木)～12月9日(日)

毎週木曜～日曜・祝日

* 20名様以上の団体は火曜水曜も開館



紅葉やどうだんつつじで彩る秋の庭園を、オルゴールの音色の余韻に浸りながらお楽しみ下さい。

★展示解説★

期間中の毎日曜日 午後2時から

展示室1階にて自動バイオリンの仕組みについて解説します。



オルゴール博物館ニュース



夏のプログラムは「からくり人形の世界」をテーマに、19世紀後半にフランスで作られたオートマタや、日本の江戸からくりの実演を致しました。こちらは今年当館に新しく仲間入りした九代目玉屋庄兵衛作茶運び人形です。江戸の技術が今も受け継がれています。

